

【記載例】

既存不適格調書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

旭川市建築主事 様

建築主 住所 旭川市〇〇丁目〇—〇  
氏名 増築 太郎

既存建築物について、適切に建築されていることを調査したので報告します。

確認済証 番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(昭和・平成〇〇年 〇月 〇日 第△△△△号) <input type="checkbox"/> 無し
検査済証 番号	<input type="checkbox"/> 有り(昭和・平成 年 月 日 第 号) <input checked="" type="checkbox"/> 無し
建築場所	旭川市△△丁目△—△
既存建築物を 調査した者  氏名・電話番号	(一級)建築士 (大臣)登録 第 〇〇〇〇 号 (一級)建築士事務所 (〇〇)知事登録 第 〇〇〇〇 号 氏名 改築 安子 (電話△△△△-△△-△△△△)

状況報告事項 ・既存建築物は、昭和〇〇年に建築 ・既存不適格事項については、別添調査書のとおり	
備考欄	建築主事又は確認検査機関記入欄

本調書を構成する図書

1. 現況の調査書(所定の記入欄への必要事項を記載)
2. 既存建築物の平面図及び配置図(増改築の履歴がある場合は、当該部分を示す必要があります)
3. 新築又は増改築の時期を示す書類
  - ・検査済証
  - ・検査済証が無い場合は、確認済証又は確認台帳の記載事項証明(建築確認を行った機関が交付したもの)に加えて、工事の実施を特定できる書類(工事契約書等、登記事項証明書等)
  - ・建築確認台帳が災害等により滅失している場合は、建築確認後の工事の実施を特定できる書類
4. 基準時以前の建築基準関係への適合を確かめるための図書等(法第6条第1項第四号などの小規模建築物については、
  1. 現況の調査書が兼ねます)